



まらまら

第43号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

男女共同参画の 視点で進めるまちづくり

~なぜ今、女性活躍推進が必要なのか~

11月29日、あやま文化センターさんさんホールにて、男女共同参画の視点で進めるまちづくりの講演会を開催しました。

埼玉大学教授の石阪督規さんを講師に迎え、「なぜ今、女性活躍推進が必要なのか」をテーマに、住民自治協議会運営委員や管理職の女性の登用率が低い理由、また登用率アップにつなげるために何が必要かを、事例等を交えわかりやすくお話いただきました。参加者からは、“伊賀市の現状と課題が分かった”“日本の自治会の状況を把握できよかった”等の感想をいただき、有意義な時間を過ごしました。

また、会場ロビーには、「防災・減災と男女共同参画」と題したパネルを展示し、災害時においても「男だから、女だから」などの思い込みで判断したり、物事を決定したりしないことが大切であることを啓発しました。



編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel.(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

(平成 29 年 2 月 15 日発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子
宮田 美智子・三山 佳代子



おとこの料理教室
11月26日・1月28日



松永 啓子さん



料理初心者の男性を対象に、50歳未満のヤング編、50歳以上のアダルト編の2回に分け、料理教室を開催しました。

今回は、～赤・黄・緑の彩り和食～料理の基本編ということで、料理の基礎を学んでいただきました。

今回の体験をきっかけに、家でキッチンに立つ機会を増やして、積極的に家事に参画してほしいと思います。



Menu

- ごぼうの和風ハンバーグ
- ほうれん草のごま和え
- 味ごはん
- 豚汁



男女一緒に
気づいて広がる
発見講座

1月18日、“男女が一緒に学べる講座を”の声にこたえ、「オーストラリアの暮らし～男女共同参画の視点から～」と題し、男女一緒に気づいて広がる発見講座を開催しました。

講師に西オーストラリア州立大学助教授のローラ・デールズさんをむかえ、さまざまな文化が交差する多様性の国であるオーストラリアを統計的に紹介しました。オーストラリアでも日本でもできることとして、今の出会いを大切にしながら、ボランティアやサークル等、行動範囲を広げることで、暮らしがよりおもしろくなるなど、つながりの重要性を説きました。そして仕事と家庭のワークライフバランスについて、時折関西弁を交えながら、流暢な日本語で話しました。

参加者からは“オーストラリアの生活や習慣を判りやすく聞くことができてよかった”“海外の結婚観、家族のカタチなど知ることができて視野が広がった”“日本ももっと寛容になっていけばいい”等の感想をいただきました。



みえの育児男子倶楽部

子育てをテーマに、男性同志で集まってみませんか

日時：平成29年3月1日（水）19：00～21：00

場所：ハイトピア伊賀4階 多目的室

対象：子育て中の男性や育児に関心のある男性等

参加費：無料

申込先：伊賀市子育て包括支援センター

電話：0595-22-9665 FAX：0595-22-9666

E-mail：kodomom@city.iga.lg.jp

家事・育児の悩みや愚痴、自慢の子育て方法など、
男同士で大いに語り合ってください！
気の合うバ友をぜひ見つけてください。



図書・DVDの貸出について



男女共同参画センターでは、男女共同参画に関する図書やDVD等の貸し出しをしています。
1回に1人5冊まで（DVD・ビデオは2本まで）、貸出期間は2週間です。

TOPICS part 21

ジェンダー・ギャップ指数

○ジェンダー・ギャップ指数とは

スイスのジェネーブに本部を置く世界経済フォーラムが、各国の社会進出における男女格差を示す指標として「経済」「教育」「政治」「保健」の4つの分野のデータをもとに作成し、男女格差の解消に役立てる資料として毎年公表しています。2016年は、世界144カ国を対象にしています。

○2016年は？

1位からアイスランド・フィンランド・ノルウェー・スウェーデンと、上位は北欧諸国が独占しました。

G7（先進国7カ国）の中では、13位がドイツ、17位がフランス、20位がイギリス、35位がカナダ、45位がアメリカ、50位がイタリア、111位が日本となっております、ここ

でもヨーロッパが上位にランクされる傾向にあります。

○日本は？

日本は、111位と過去最低の水準で、先進国の中で、最低ランクに甘んじています。

「経済」は118位、「教育」は76位、「政治」は103位、「保健」が40位となっており、特に所得格差や専門職での雇用の「経済」、議員や管理職における男女比率、閣僚の地位などの「政治」に著しい格差が見られます。

また、ここ数年の日本のランキングは、2013年から105位、104位、101位、そして2016年は10位後退し、111位となっております。



（男女共同参画係）

